

2010.JUN

釣り人が創る逸品釣具 ぎあ・らぼ

お気楽Gear-labニュースレター第19号です。

Gear-Lab製品をご利用ありがとうございます。

今またEZノッターやROCKに続く開発品に手がけており気合いが入ってます。なんで今まで誰も開発しなかったんだらうという単純な要望のある釣具です。o(^-^o

よくも毎月新製品をリリースできますね。とお客様によく言われますが、最近はリリースするから入ってくるものがある、つまりアウトプットするからインプットがあるんだなあと感じてます。外からみるとまるでわんこそばを食べているように次、次、次というリズムに見えるらしいです。実際はそんなにさばけているわけではないですし、かなり地味な作業や仕入れや調査を繰り返しているだけなのです。

先月は、釣りと全く関係ない味噌工場、窯業技術センター、エネルギー研究所、商社、フィルムメーカーなど関係のないところをウロウロして話を伺ってます。

東京ビッグサイトの展示会は年間20回くらいは行っていると思いますが、世界の自転車や世界の家具展、環境展といういろいろです。あくまでも釣具開発という視点で見えていますが、いろんな接点があるのです。今は釣った魚の鮮度を保つための超微振動の育成波動を出す水について興味津々です。美味しいおいしい魚を持って帰りたいですね。>^_^<



旅暮らし四方山話。(その8)

さて、久しぶりに釣りの話です。(～;) 南国の島々は興味あるところが多いのですが、先月はトカラ列島に行って参りました。屋久島のもっと南に位置しており十島村と言われ10個の島がありそのうち3つが無人島で残り7つの島々も立派な過疎地で自然豊かなところです。鹿児島市からフェリーで約9時間という長時間の乗船です。

トカラに行くことになったのは、Gear-Labの仲間である右写真の濱崎敬貴氏が原因です。身長180cmを超えてこの体型はまるでプロレスラー並みです。ニックネームは「サップ」というから笑えます。ゼナックのフィールドデスターでもあり、UZUの俺のシャバジグやラッパのジョ

ニーなどの開発を手がけております。彼はGT(ロウニンアジ)のオールタックルで世界記録を樹立しています。

彼とはEZノッターを製作時より協力してもらい、鹿児島で焼酎呑みながら、中洲でやっぱり焼酎呑みながらトカラ列島の話を聞いていました。呑んだ席での話で、そのうち行きたいなあ～と半ば、かなり遠い先のこととして思っていました。

ところが東京出張中へ彼からの電話が私を狂わせてしまったのです。「福山さん。トカラにトビウオが入ってきましたよ。行きますか？」私は「うん。行きます！」と即答してしまったのです。(～;))

私は元々南の島々はどこも好きでトカラ列島の話は、釣りだけではなく、海と島とそこに住んでらっしゃる方々とのふれあいに興味ありました。そこにトビウオが私のスイッチを入れてしまったわけです。出張から帰ると、嫁さんに「トカラに釣りに行ってくる。」と告げると「いつも自由でいいね～。うらやましいわあ。」となんかそのあとの言葉に怯えつつ、釣具の準備です。タックルが今まで

の常識と全然違います。(右上につづく)



168cm、72.8kgのGT魚拓はとんでもない迫力でした。こんなサイズのGTを防波堤からルアーで釣るのです。

Gear-labは普通の釣具店にはない新しく夢のある逸品釣具を紹介し続けます。全国の熱い人たちと共に本当に良いものを世の中に出すことに真剣であり常識にとらわれない商品開発や逸品釣具を求める方とのみチームを組んでいきます。



GT専用ロッドは10feetのこりやまたごっついミュートス100HHH、リールはソルティガ6000番、8号PEを200m巻きます。300m巻かないと魚は止まらないよと脅迫されましたが、いや力で止めますと気合いだけ。特注のEZノッターLLサイズを使ってPEラインからスパーサーを結びリーダーを結びます。そしてファイティングリーダーは330LBというロープのようなラインです。ミノーサイズは日頃釣っている魚サイズでフックも男前です。

さて、フェリーが島の港に着きました。島の方々全員(人口約50名)が総出で荷物を下ろし上げしています。船が去るとまた誰もいない港になります。民宿の軽トラを借りて島を散策しましたが、予想通りに南国の島の風です。(ハ、ハ)時間がゆっくり流れているのが感じます。私はこの島が一瞬で好きになりました。

信号機が一つもありません。お店が一軒もありません。街灯がないので夜は真っ暗です。ここの島での最高の乗り物は軽トラです。これ以上に便利なものはありません。この軽トラにはナンバーがありません。ナンバーの代わりに名前が書いてあります。バイクは原付で誰もヘルメットなどしていません。で片手にビールもって運転してます。勿論警察はありません。子供達は小学4年生になって「都会見学」なるものをするとのことで鹿児島市内に行き初めて信号機を見ることになるそうです。ホントのカルチャーショックなのです。もちろん島の人たちは顔見知りばかりなので歩いていると簡単に声をかけられ酒や食べ物をお勧められます。なんと素晴らしい環境なのでしょう。

民宿の親父さんは、お昼過ぎに「今日の晩飯を釣りに行くっど」と言って漁船に乗って釣りに連れて行ってくれます。もちろん無料です。(右上につづく)

スピナーベイトは海釣りに使える？

私はバスフィッシングはしませんが、バスフィッシングのタックルは素晴らしいものがあります。そのなかで金属のブレードをテンピンに付けて固定ジグヘッドにひらひらのゴムかワームを取り付けたスピナーベイトというものが昔からあります。あの金属のブレードひらひらに何でバスが喰いついてくるのかよく分かりませんが、やっぱり動きとして面白いのでしょう。

そこで私もショアジギングや船からのジギングに出来ないかと思い試作を繰り返しているところです。

青物はパワーがあるのでバス用の細いテンピンやフックは使えませんので新たにゴツイものを作っています。

これを使って釣れたら面白いでしょうね。この怪しい釣具案はこのニュースレターだけの公開です。(〜〜)

ですので、このニュースレターを見てテストしてみたいと思われた方はモニターとして私宛にメールください。お送りさせていただきます。200文字くらい原稿と写真1枚以上をお願いいたします。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

私はジギングでキハダマグロなどを釣って十分に楽しみました。本当に豊かな海です。

サップはタケノコを取りに山に入ります。夕方は外でバーベキューです。釣った魚の刺身はてんこ盛りで、トビウオを塩焼き・・・これがとても美味です。サップはトビウオを50リットルのクーラー一杯持って帰るらしいです。熱々のタケノコが実にうまい。ビールや焼酎が旨い。皆さんとの話しも旨い。

さてさて、GT(地元ではカッポレと言います)釣りは夜釣りで朝までロッドを振り続けます。夜の防波堤は広いところですが真っ暗で目が慣れるまでに時間がかかります。

一瞬サーチライトを海に向けるとトビウオが驚いて飛びますのでGTを狙う場所が決まり釣り開始です。

夜の海も気持ちいい。数回目のキャストで私のロッドがいきなりひたたくられてあわや海に落としそうになりました。油断していたわけではなく経験したことのないアタリの強さに無理矢理ロッドを押さえ込まれたのです。必死でロッドをつかみ気合いを入れて大合わせをしましたが、その瞬間にバレてしまいました。「じ、じ、GTってあんな強烈なアタリをするん!？」と流石に動揺を隠しきれない私がいました。

それからギンガメアジ5.8kgを釣り朝を迎えました。朝の海も気持ちいい。大きなウミガメが真下に泳いでます。

今回はGTは釣れませんでした。この島と海と人たちが私は大好きです。時間がゆったりと流れるこの感覚はお金では買えません。

嬉しいことに私の携帯電話はsoftbankは完璧な圏外です。2日間も通じない私のsoftbankは益々大好きです。(笑)

株式会社ギアラボ

〒813-0016 福岡市東区香椎浜2丁目5-2-701

Tel 092-663-5196

Fax 092-663-5102

Mail NQE50210@nifty.com

このお気楽ニュースレターのバックナンバーは下記にございます。

<http://www.gear-lab.com/newsletter/main.htm>

Gear-labホームページ

<http://www.gear-lab.com>

毎月の新製品に追われ、全国を旅しながら、モノづくりと販売のお手伝いをしています。

お気軽にメールください。面白い釣具があれば全国どこへでも参上します!一杯呑みましょう。(〜)

福山克義(ふくやまかつよし)

メール NQE50210@nifty.com

携帯 090-8406-9591



お気楽DEATCHこと福山でした